

インフラメンテナンス新技術・体制等導入推進委員会 議事概要

1. 日時：平成31年2月8日 13:00～14:30
2. 場所：中央合同庁舎3号館 4階 総合政策局局議室
3. 議事概要
事務局より資料に基づき以下について説明後、意見交換を行った。
 - 1). 本委員会の役割、アウトプット
 - 2). 本委員会の進め方
 - 3). H30～H31年度のモデルニーズ
 - ①点群データを活用した施設の管理効率化に資する技術
(道路や河川管理施設等に関する点群データの活用技術等)
 - ②常時没水している構造物等を可視化し施設の管理効率化に資する技術
(道路橋脚、ダム施設及び港湾施設等の没水部の可視化技術等)
 - 4). モデル自治体と技術提供企業の公募の方針

【委員からの主な意見】

- 課題・対象範囲の検討や、情報共有についてもインフラメンテナンス国民会議と連携して進めていくこと。
- モデルニーズは、まずは点検に対する新技術でよいが、今後は補修等に対する新技術についても対象とすることを検討した方がよい。また、自治体から維持管理業務等を受注する企業等のニーズも収集した方がよい。
- 最新技術だけでなく、自治体が維持管理に導入できていない技術も含めて、新技術として広く検討対象とした方がよい。
- 「新技術導入の手引き」は、自治体向けの内容とのことだが、これまでの新技術導入に関する取り組みの内容を整理し、管理者、開発者、学識者の視点も踏まえて解説資料や補足資料として整理した方がよい。
- 新技術を導入する意思決定がどのように行われているか把握した方がよい。また、マネジメントサイクルとメンテナンスサイクルの両面から新技術の導入を考えた方がよい。